



デジタルを活用した窓口用多機能発券機を導入します

中央福祉事業所社会福祉課（本庁舎2階南側）窓口について、デジタルを活用した窓口用多機能発券機の導入を通じて「4つの窓口改善」を実施し、市民サービスの向上を進めます。

○4つの窓口改善

(1) 窓口で待合状況の見える化

待合状況が市民向けモニターで見える化され、自分の前にどの程度待ち人数がいるのかがわかるようになります。

(2) スマホで待合状況の見える化

発券時に印字される二次元コードでスマホから待合状況が確認できるようになります。窓口付近で待たなくてもすむほか、待合の状況によっては、庁舎外で休憩や他の用事を済ませることもできます。

(3) 順番お知らせメールの自動発信

発券時に印刷される二次元コードからメールアドレスを登録することで、順番が近付いた時点でメールが自動発信され、窓口に行くタイミングを知ることができます。

(4) フロアマネージャーの配置

新たにフロアマネージャーを配置し、来庁した市民へ最初に用件をお伺いします。

手続きごとに分類された発券のお手伝いをさせていただくほか、窓口が異なる場合は、適切な窓口をご案内します。

○実施時期

令和7年10月1日（水）～

社会福祉課窓口

- ・障がい福祉や地域福祉に関する窓口です。
- ・107種類の手続き窓口として、本庁舎内では年間約4万件の手続きを受け付けています。

多機能発券機設置場所

中央福祉事業所社会福祉課（本庁舎2階南側）窓口

取材受付日：令和7年10月1日（水）13：00～17：00の間